

5. 科研費トピックス

「日本の科学技術の状況変化についての代表的な研究者・有識者に対する意識定点調査」について

日本の科学技術の状況変化を把握するために、科学技術政策研究所により、日本の代表的な研究者・有識者に対する意識定点調査が様々な項目について5年間(2006～2010)にわたり実施されており、2010の調査結果が公表されています。

(科学技術政策研究所ホームページ <http://www.nistep.go.jp/achiev/results01.html>)

科研費制度についても下図のとおり調査結果が公表されており、指数については、3～4は状況がまだまだであり、5を超えるとそれほど問題ではない、6～7程度でかなりよい状況を示しています。

科研費に関する調査結果は以下のとおりです。

- ① 科研費の審査制度については、公正さが大切ですが、指数は6.2となっており、公正で透明性の高い審査が行われているとの高い評価を得ています。
- ② 研究費の使いやすさについては、指数が3.3→4.8へと大きく改善し、概ね問題がない状況となっており、本調査の中でも最も指数の上昇が顕著な結果となっています。指数はまだ充分ではありませんが、平成23年度から実施している科研費の「基金化」の改革により、使いやすさの一層の向上が見込まれます。

本調査によって、科研費制度は研究者・有識者から高い評価を得ていることが判明しましたが、審査制度や研究費の使いやすさの改善については今後も重要であると考えており、引き続き制度の改善を図っていきます。

科学研究費補助金にかかわる調査結果

問内容	指数										指数変化			
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10		
科学研究費補助金制度においては、応募課題に対して公正で透明性の高い審査(審査体制の整備、審査結果の詳細な開示等)が行われていると思いますか。												不 充 分	充 分	0.24
科学研究費補助金制度における研究費の使いやすさ(例えば入金の時期、研究費の年度間繰越等)の程度はどのように思いますか。												使 い こ づ い	使 い や す い	1.53

注1: 指数計算には、それぞれの調査において実感有りとした回答者の回答を用いた。上から2006年～2010年度調査の結果である。

優れた審査を行った審査委員を表彰

日本学術振興会の学術システム研究センターでは、科研費の審査結果の検証を行い、翌年度の審査委員の選考に適切に反映させています。

このたび、平成23年度の審査を行った第1段(書面)審査委員約5,000名の中から模範となる審査意見を付していた審査委員49名を選考し表彰しました。

表彰者については、本会のホームページ等を通じて公表するとともに賞状と記念のメダルを贈呈しました。

【掲載ホームページアドレス】

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/26_hyosho/hyousyou_2011.html



平成23年度科研費(補助金分・基金分)の配分について(第2回)を公表

平成23年度科研費(補助金分・基金分)について、5月31日に報道発表を行った配分結果に、それ以降に交付内定を行った研究種目である「特別推進研究」(新規分)、「新学術領域研究(研究領域提案型)」(新規分)、「基盤研究(S)」(新規分)、「研究活動スタート支援」(新規分)、「特別研究員奨励費」(1～3回、新規分)の配分結果を加え、10月25日に公表しました。

新規応募件数は、前年度より2,449件(2.5%)の増、採択件数は6,175件(25.9%)の増、採択率は、前年度より5.6%上昇し、30.3%となりました。

区分	研究課題数			配分額 (百万円)	1課題あたりの配分額	
	応募件数(件)	採択件数(件)	採択率(%)		平均(千円)	最高(千円)
新規採択のみ	(96,690)	(23,835)	(24.7)	(63,160)	(2,650)	(163,000)
	99,139	30,010	30.3	74,729	2,490	146,300
新規採択+継続分	(137,437)	(64,477)	(46.9)	(153,688)	(2,384)	(274,700)
	140,831	71,650	50.9	166,062	2,318	213,000

※配分額は直接経費の額。※()内は前年度を示す。
 ※平成23年度に基金化した研究種目については、平成23年度の当初計画に対する配分額を計上している。
 ※特別研究促進費、新学術領域研究(研究領域提案型)「生命科学系3分野支援活動」、特定奨励費は除く。

詳細なデータについては、下記の科研費ホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1312507.htm

平成24年度ひらめき☆ときめきサイエンスの実施プログラムを募集

募集内容、応募手続きについては、募集要領をご覧ください。

【掲載ホームページアドレス】

<http://www.jsps.go.jp/hirameki/boshu.html>



募集の概要

I. 事業の趣旨・目的

本事業は、我が国の将来を担う児童・生徒を対象として、研究者が科研費による研究成果を基礎としながら研究の内容についてわかりやすく説明することを通じて、児童・生徒の知的好奇心を刺激し、心の豊かさや知的創造性を育み、学術の文化的価値及び社会的重要性について示し、もって学術の振興を図ることを目的としています。

II. 応募資格

これまでに、科研費の研究代表者として研究を実施したことがある研究者が所属している大学及び大学共同利用機関等の機関とします。

III. 募集するプログラム

以下の項目をすべて満たすプログラムであること。

- 1) 小学校5・6年生、中学生及び高校生のいずれかを対象とすること。
- 2) 科研費の成果の基礎をより分かりやすく、おもしろく伝える内容であること。
- 3) 組織的な取組として行われること。
- 4) 平成24年7月下旬～平成25年1月下旬に開催されること。